

実態調査結果

⑤ 学校

令和3年9月

北海道保健福祉部

北海道教育委員会

【調査目的】

支援が必要なヤングケアラーの早期発見に向けた取組や適切な支援につなげるための具体的な方策を検討するため、ヤングケアラー本人が抱える悩みのほか、関係機関における相談支援の実態を把握することを目的に実施。

【主な調査項目】

- ・「ヤングケアラー」という言葉の認知度
- ・ヤングケアラーへの対応状況
- ・校内におけるヤングケアラーの有無
- ・必要と思われる支援 など

【調査対象】

道内公立中学校、公立高等学校（札幌市立校を除く）

【調査対象数】

学校：691校

【回答件数】

学校：有効回答数561件（回収率 81.2件）

ヤングケアラー支援に係る調査結果【学校】

調査結果の表記について、小数点第2位を四捨五入した値を表記しているため、合計が100.0にならない場合がある。
一部の項目において、未回答等があるため、合計は必ずしも一致しない場合がある。

1 調査結果概要

(1) 回答者について

※ 中等教育学校は、中学校に含めて計上。

	校長	副校長・ 教頭	主幹教諭・ 主任	養護教諭	その他
中学校(N=372)	3.2%	93.8%	2.4%	0.3%	0.3%
全日制高校(N=164)	0.6%	80.5%	4.3%	11.0%	3.7%
定時制高校(N=25)	0.0%	64.0%	8.0%	16.0%	12.0%

(2) 回答校の学校区分

中学校	371
中等教育学校	1
高等学校	189
無回答	6

(3) 高等学校の課程

全日制	164
定時制	25
通信制	0

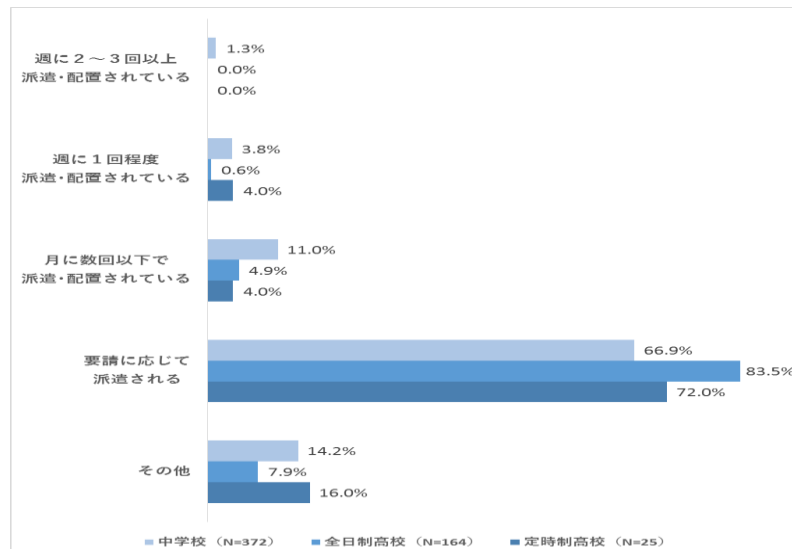
(4) 回答校の(振興局別)所在地

※ 中等教育学校は、中学校に含めて計上。以下同様。

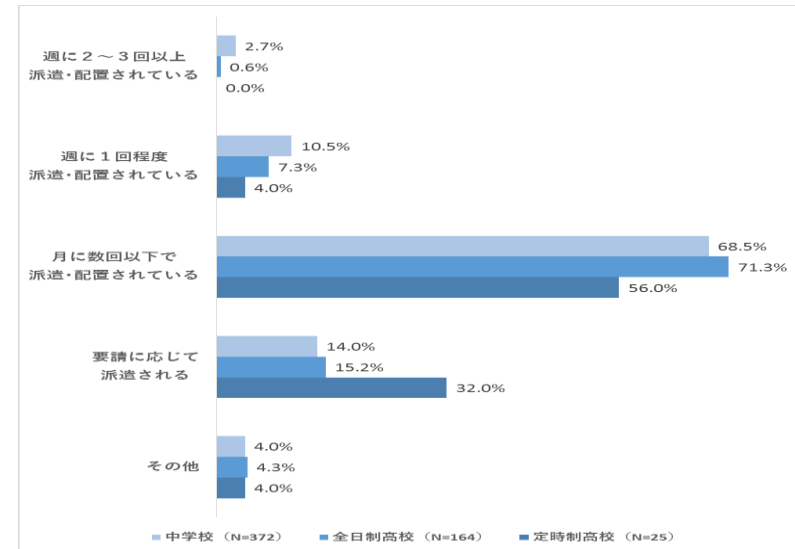
	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
中学校(N=372)	8.6%	8.6%	6.4%	10.2%	3.5%	8.8%	1.6%	11.5%	1.9%	4.3%	10.7%	11.8%	8.3%	4.0%
全日制高校(N=164)	9.8%	16.6%	4.9%	9.8%	2.5%	9.2%	1.2%	12.3%	2.5%	3.7%	9.2%	8.0%	7.4%	3.1%
定時制高校(N=25)	4.2%	25.0%	12.5%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	20.8%	4.2%	0.0%	8.3%	4.2%	8.3%	0.0%

2 相談対応・情報共有の状況

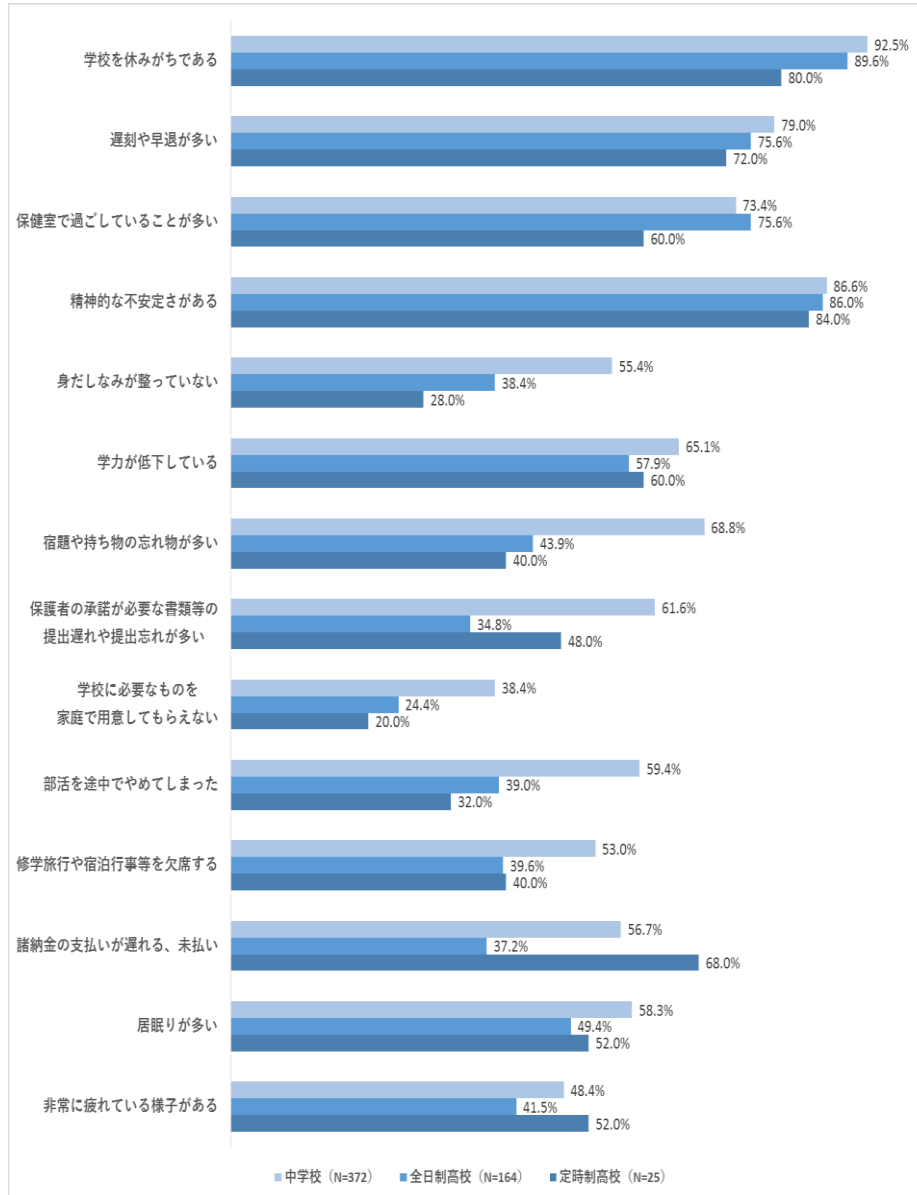
(1) SSW(スクールソーシャルワーカー)の派遣・配置状況



(2) SC(スクールカウンセラー)の派遣・配置状況



(3) 校内で情報を共有している子どものケース別の割合(複数回答)



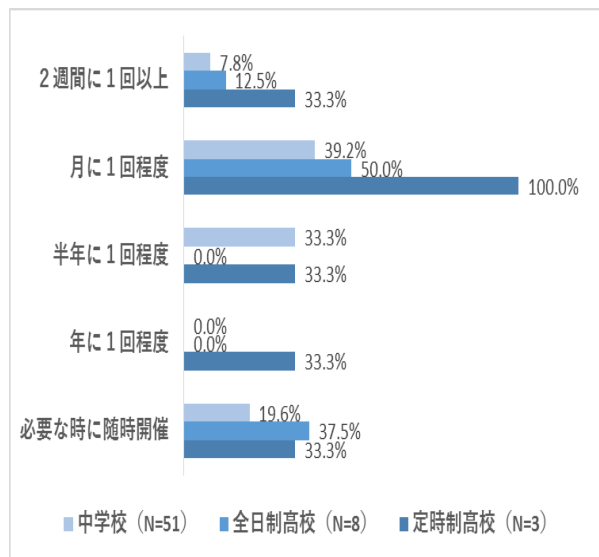
(4) 情報共有・対応の検討を行う体制の状況

	不登校の子どもに関する校内体制で検討	不登校以外の子どもに関する校内体制で検討	個別に対応
中学校 (N=372)	46.2%	39.0%	13.2%
全日制高校 (N=164)	40.9%	37.2%	20.7%
定時制高校 (N=25)	24.0%	40.0%	32.0%

(5) 情報共有・対応の種類(複数回答)

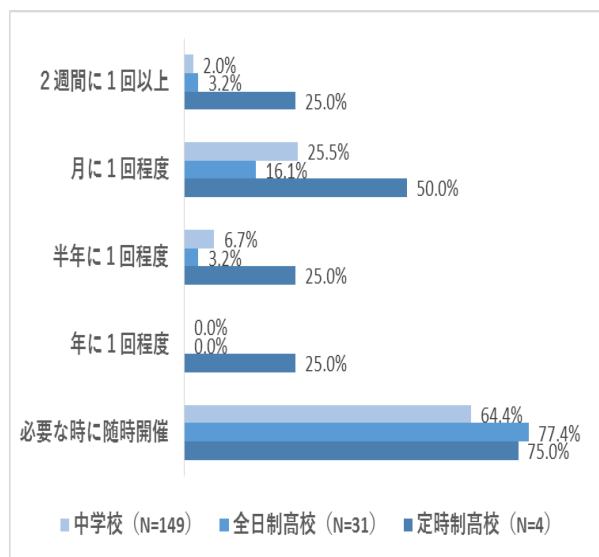
	スクリーニング会議	ケース会議	生徒指導部・委員会など	その他
中学校 (N=317)	16.1%	47.0%	80.4%	2.2%
全日制高校 (N=128)	6.3%	24.2%	86.7%	0.8%
定時制高校 (N=16)	18.8%	25.0%	87.5%	12.5%

① スクリーニング会議の開催頻度と参加する教職員の割合（複数回答）



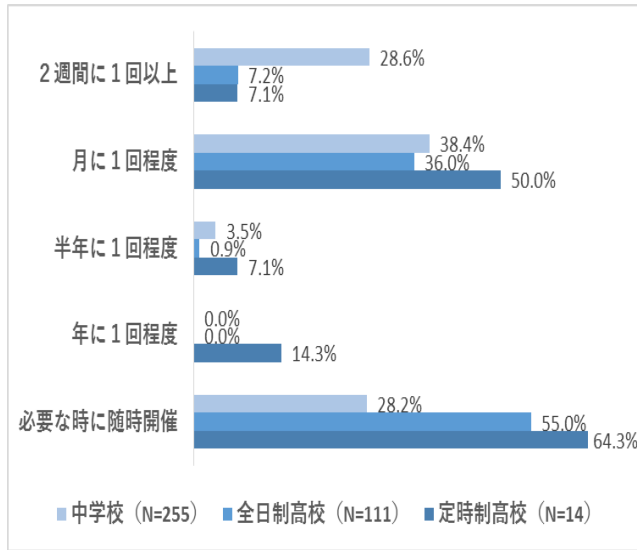
	校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生徒指導担当
中学校 (N=51)	76.5%	88.2%	80.4%	78.4%	86.3%
全日制高校 (N=8)	25.0%	100.0%	37.5%	100.0%	87.5%
定時制高校 (N=3)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	養護教諭	SSW	SC	外部の関係機関	その他
中学校	66.7%	3.9%	5.9%	0.0%	17.6%
全日制高校	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%
定時制高校	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%

② ケース会議の開催頻度と参加する教職員の割合（複数回答）



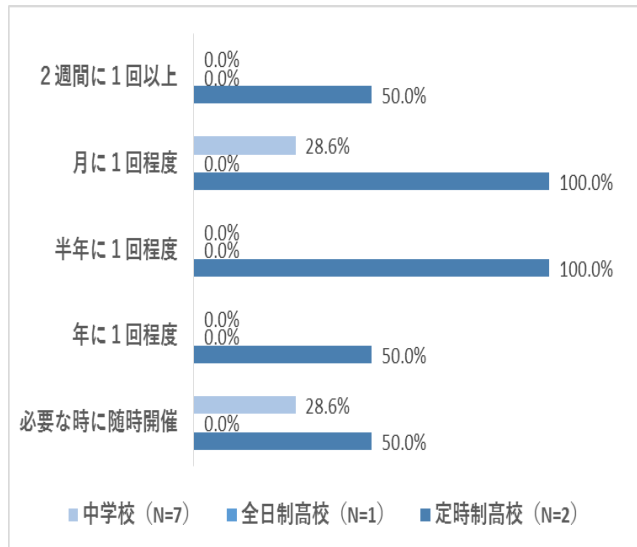
	校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生徒指導担当
中学校 (N=149)	61.1%	96.0%	66.4%	91.9%	81.2%
全日制高校 (N=31)	6.5%	80.6%	71.0%	93.5%	58.1%
定時制高校 (N=4)	75.0%	75.0%	75.0%	100.0%	50.0%
	養護教諭	SSW	SC	外部の関係機関	その他
中学校	68.5%	13.4%	22.8%	15.4%	11.4%
全日制高校	90.3%	6.5%	25.8%	9.7%	29.0%
定時制高校	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%

③ 生徒指導部・委員会などの開催頻度と参加する教職員の割合（複数回答）



	校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生徒指導担当
中学校 (N=255)	58.4%	83.1%	55.7%	65.5%	96.9%
全日制高校 (N=111)	5.4%	90.1%	72.1%	77.5%	86.5%
定時制高校 (N=14)	28.6%	85.7%	28.6%	100.0%	92.9%
	養護教諭	SSW	SC	外部の関係機関	その他
中学校	67.8%	0.8%	7.1%	0.4%	12.2%
全日制高校	92.8%	0.0%	6.3%	1.8%	27.9%
定時制高校	92.9%	7.1%	14.3%	7.1%	50.0%

④ その他の会議の開催頻度と参加する教職員の割合（複数回答）



	校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生徒指導担当
中学校 (N=7)	42.9%	42.9%	71.4%	57.1%	71.4%
全日制高校 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
定時制高校 (N=2)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	養護教諭	SSW	SC	外部の関係機関	その他
中学校	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全日制高校	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
定時制高校	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	20.0%

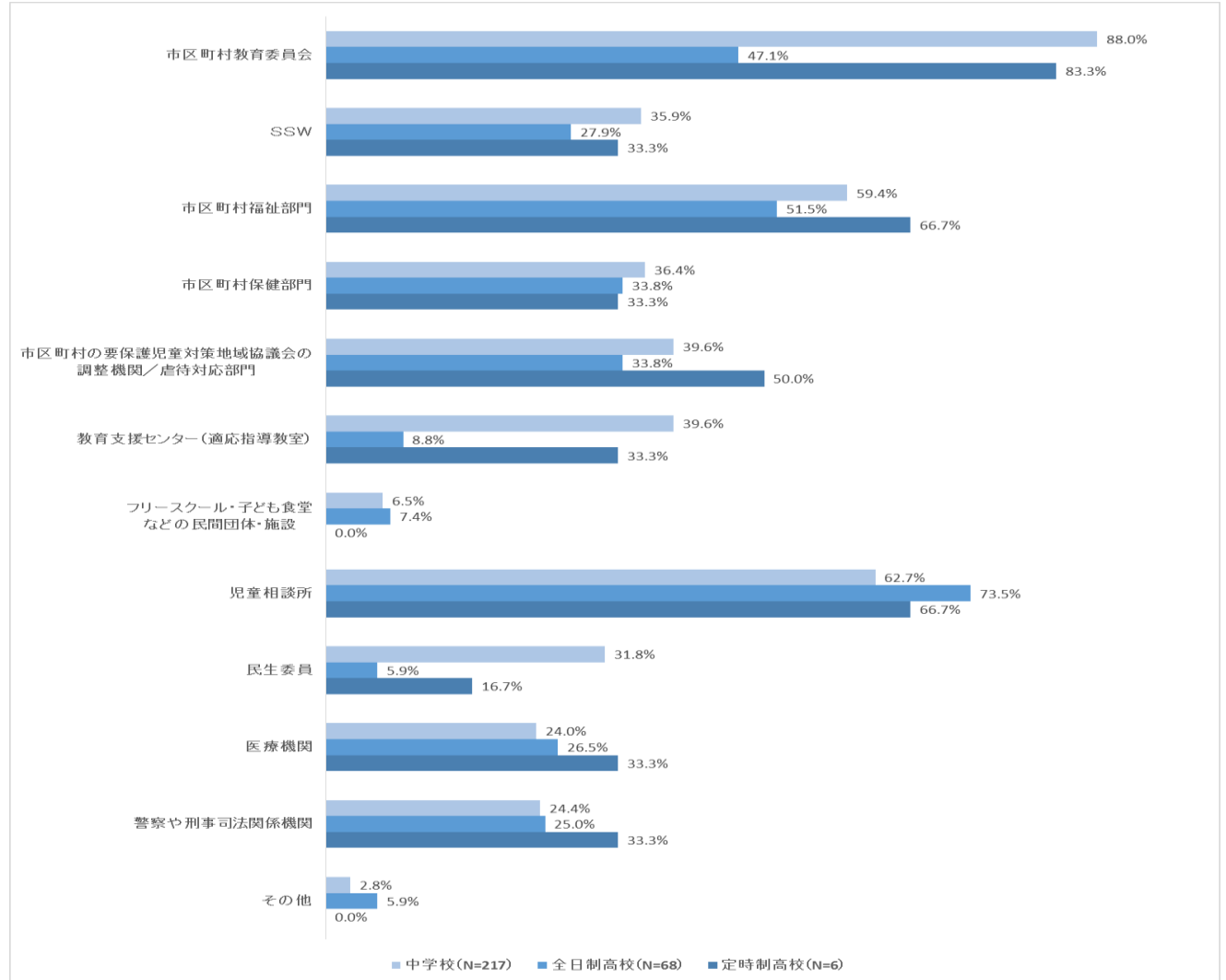
(6) 虐待などで要保護児童対策地域協議会に登録されている児童について学校と関係機関との連携体制の状況

()内は実数

	有り	特にない
中学校(N=372)	58.3% (217)	36.8% (137)
全日制高校(N=164)	41.5% (68)	54.9% (90)
定時制高校(N=25)	24.0% (6)	76.0% (19)

「要保護児童対策地域協議会」とは保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童などの適切な保護や支援を行うため、児童福祉法に基づき各市町村が設置する。児童相談所や学校、教育委員会、警察など、地域の関係機関によって構成される。

左記で「有り」と回答した学校が、情報共有や対応の検討を行う関係機関の割合(複数回答)

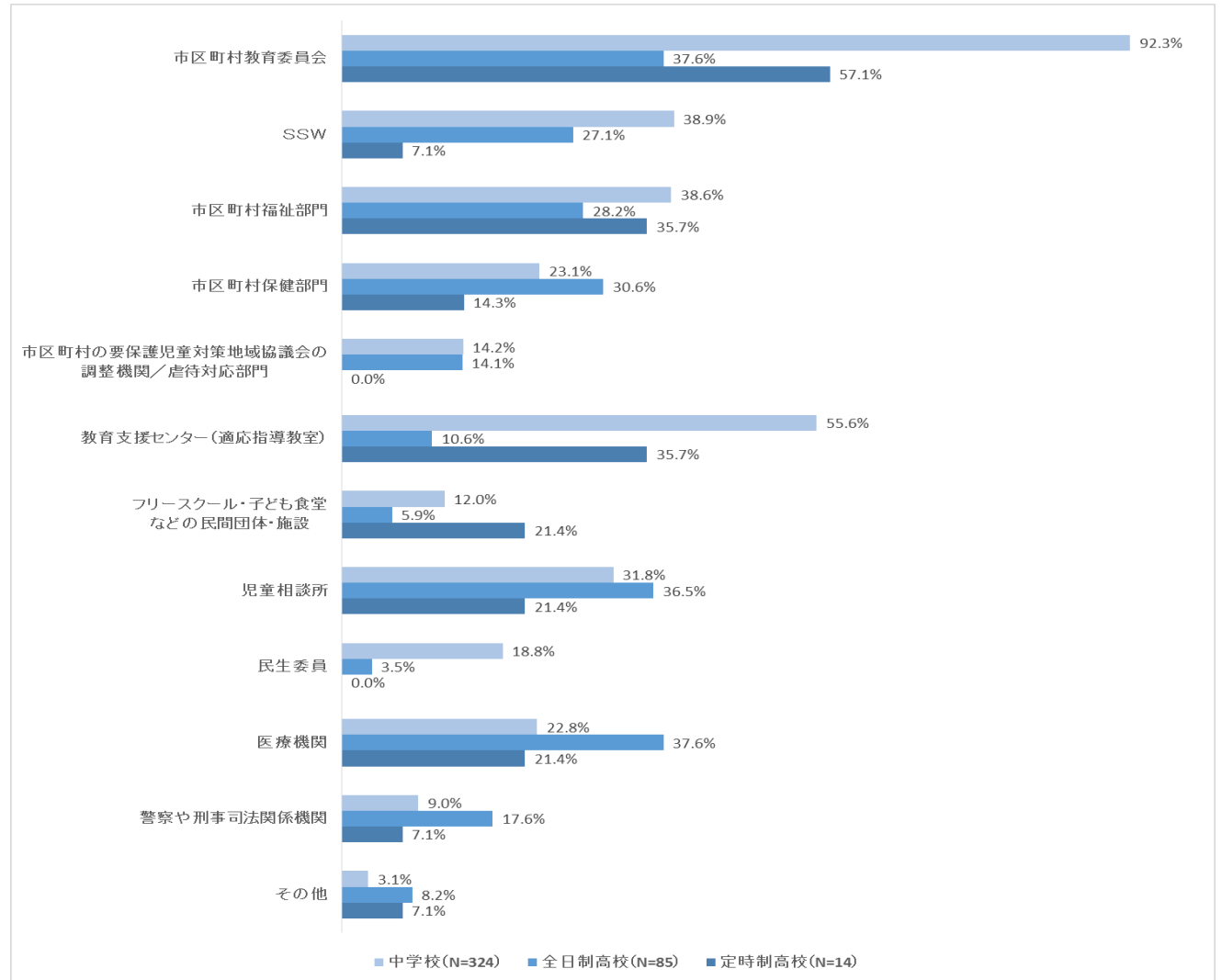


(7) 不登校ケースについて関係機関との連携体制の状況

()内は実数

	有り	特になし
中学校(N=372)	87.1% (324)	11.3% (42)
全日制高校(N=164)	51.8% (85)	47.0% (77)
定時制高校(N=25)	56.0% (14)	44.0% (11)

左記で「有り」と回答した学校が、情報共有や対応の検討を行う関係機関の割合(複数回答)

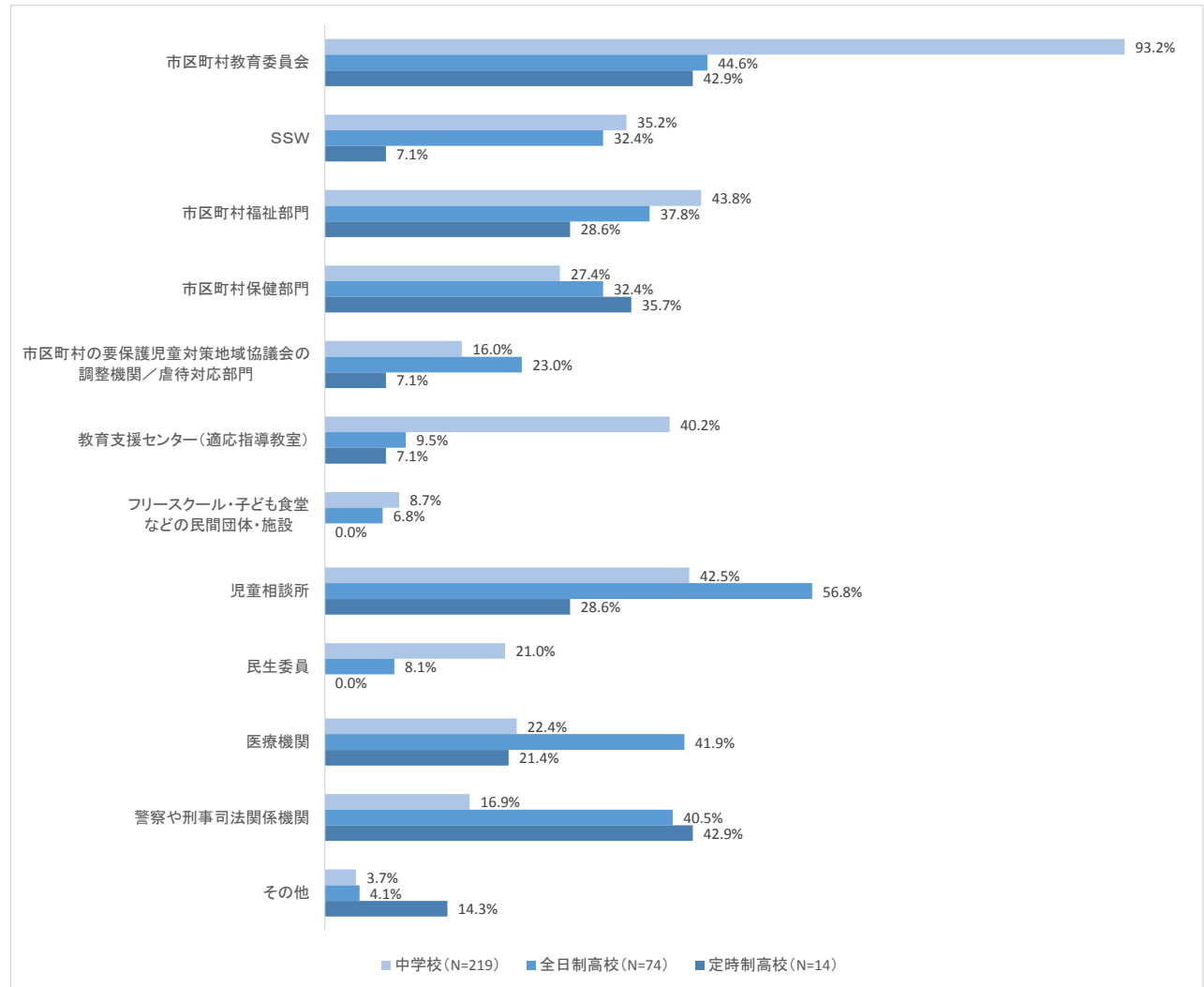


(8) (6)、(7)以外に学校生活に懸念のある子どもについて関係機関との連携体制の状況

()内は実数

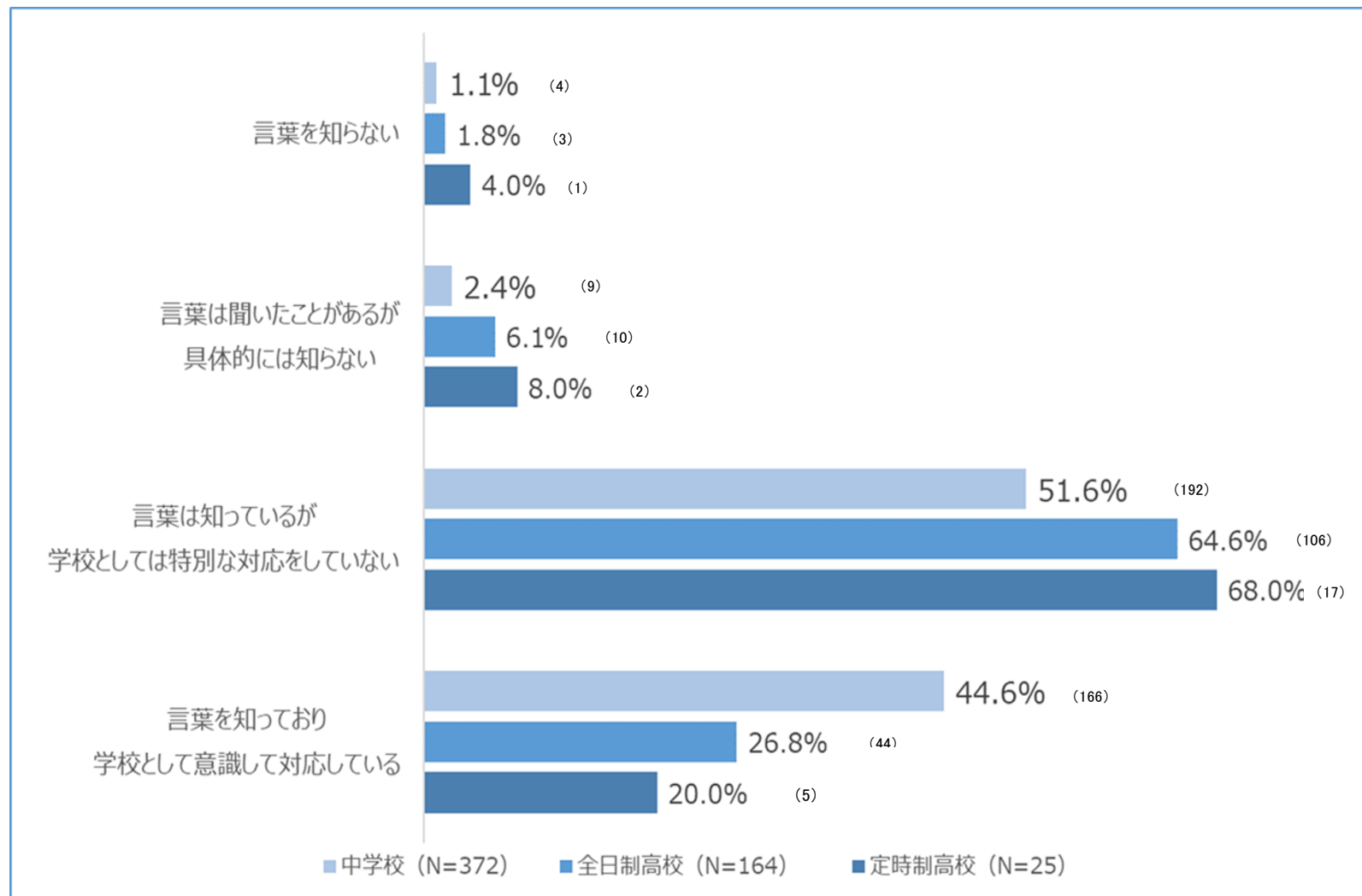
	有り	特になし
中学校(N=372)	58.9% (219)	35.5% (132)
全日制高校(N=164)	45.1% (74)	52.4% (86)
定時制高校(N=25)	56.0% (14)	44.0% (16)

左記で「有り」と回答した学校が、情報共有や対応の検討を行う関係機関の割合(複数回答)



3 ヤングケアラーという言葉の認知度

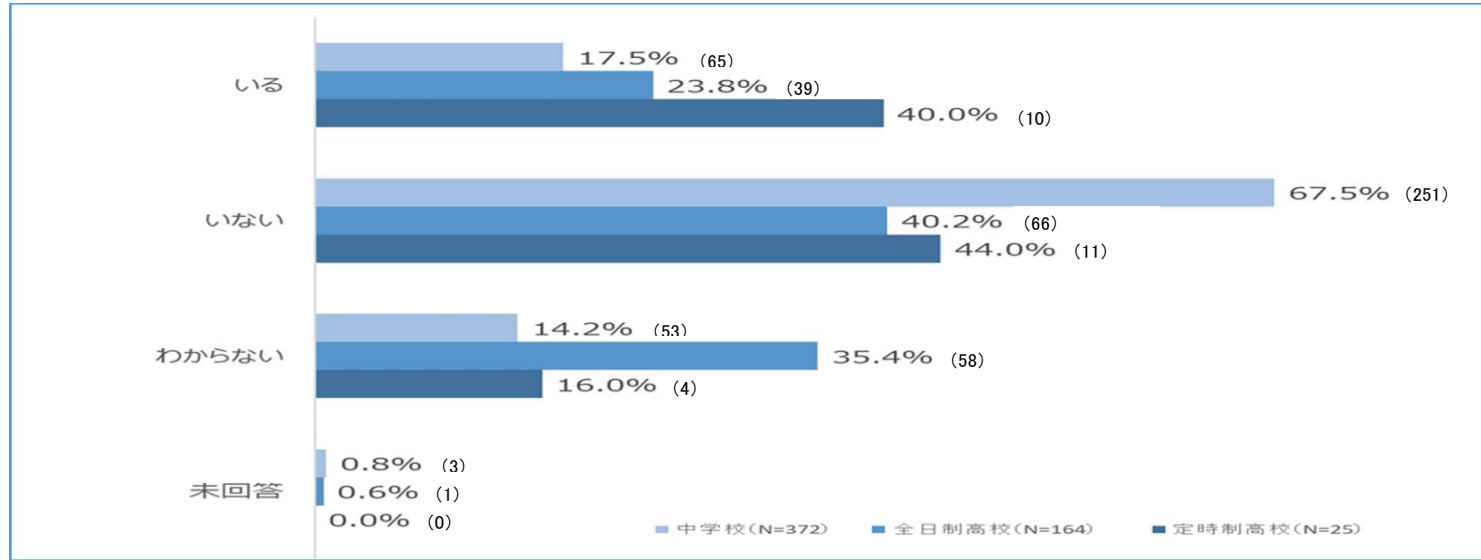
()内は実数



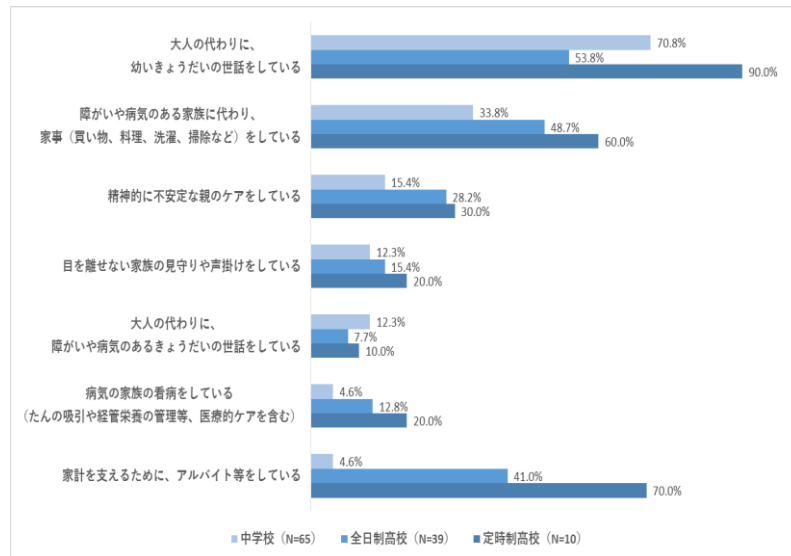
4 ヤングケアラーの状況

(1) ヤングケアラーと思われる子どもの有無

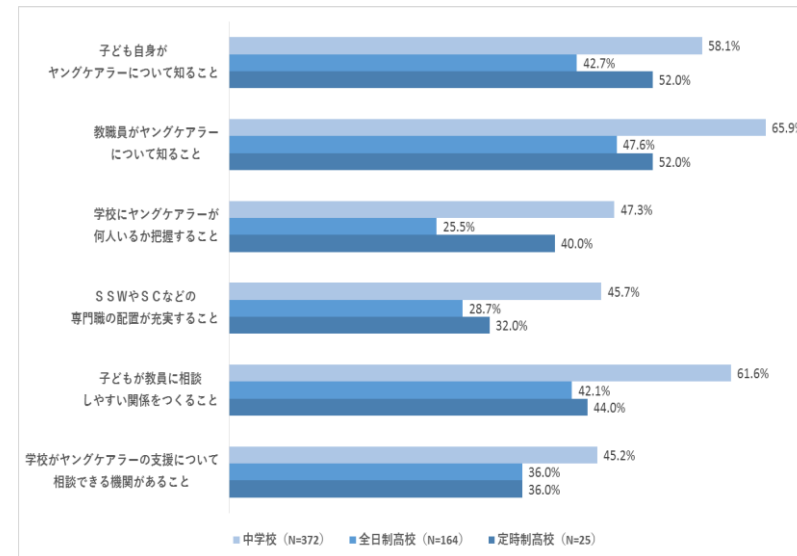
()内は実数



(2) どのような世話をしているか(複数回答)



(3) ヤングケアラー支援のために必要なこと(複数回答)



(4) ヤングケアラーの把握方法等

① 把握している割合

	把握している
中学校 (N=166)	30.1% (50)
全日制高校 (N=44)	36.4% (16)
定時制高校 (N=5)	40.0% (2)

()内は実数

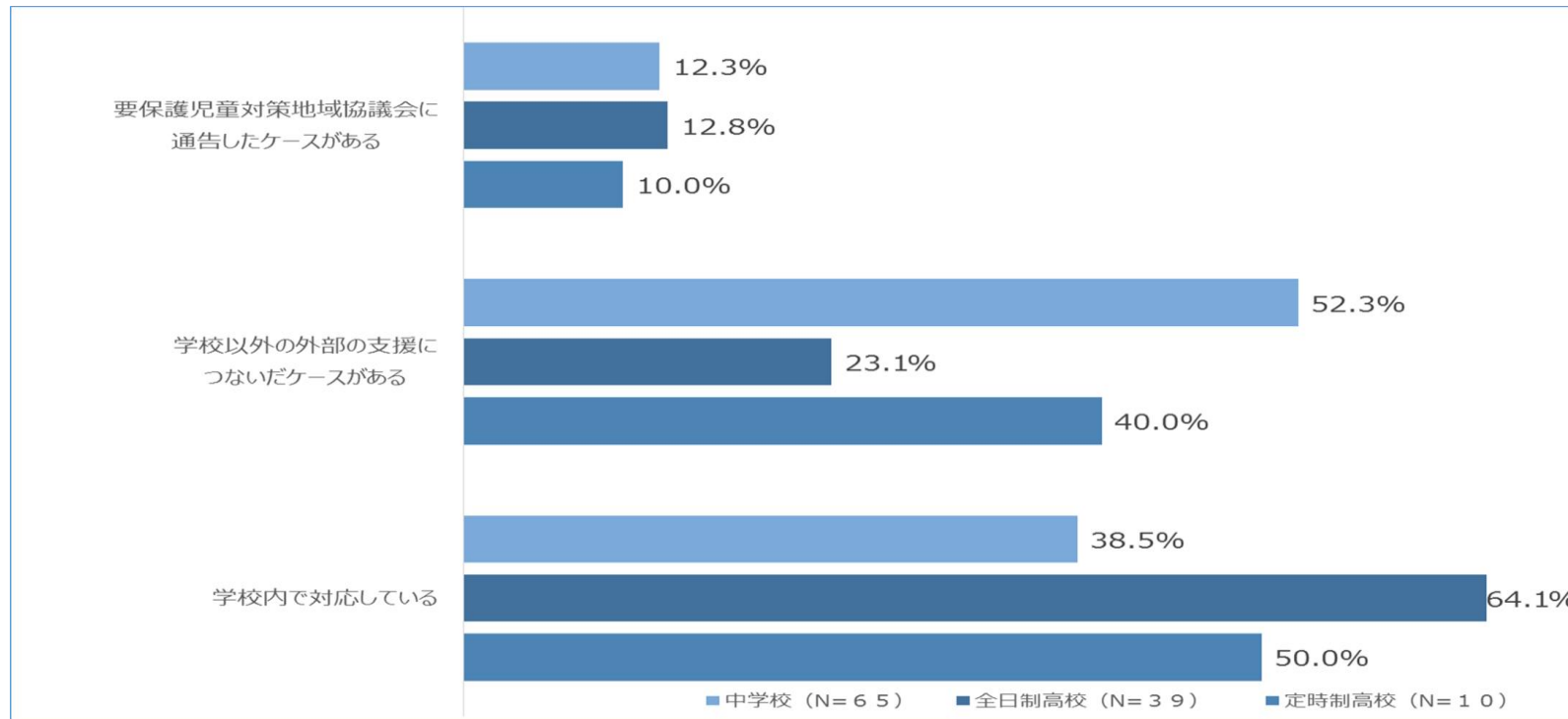
② 把握方法(複数回答)

把握方法	中学校 (N=166)	全日制高校 (N=44)	定時制高校 (N=5)
アセスメントシート・チェックリストなどツールを使用	14.0%	0.0%	0.0%
特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している	84.0%	81.3%	100.0%
その他	4.0%	18.8%	0.0%

(5) ヤングケアラーを把握していない理由(複数回答)

理由	中学校 (N=53)	全日制学校 (N=58)	定時制高校 (N=4)
学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している	18.9%	36.2%	75.0%
緊急度が高くないため「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる	13.2%	17.2%	25.0%
家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい	98.1%	89.7%	100.0%
ヤングケアラー自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない	45.3%	48.3%	50.0%
その他	1.9%	8.6%	0.0%

5 ヤングケアラーを把握した場合の対応状況(複数回答)



6 事例

(1) 学校がヤングケアラーを要保護児童対策地域協議会へ通告した事例

① 性別

	女性	男性
中学校(N=8)	75.0%	25.0%
全日制学校(N=5)	60.0%	40.0%
定時制高校(N=1)	100.0%	0.0%

② 学年

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
中学校(N=8)	0.0%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全日制学校(N=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
定時制高校(N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

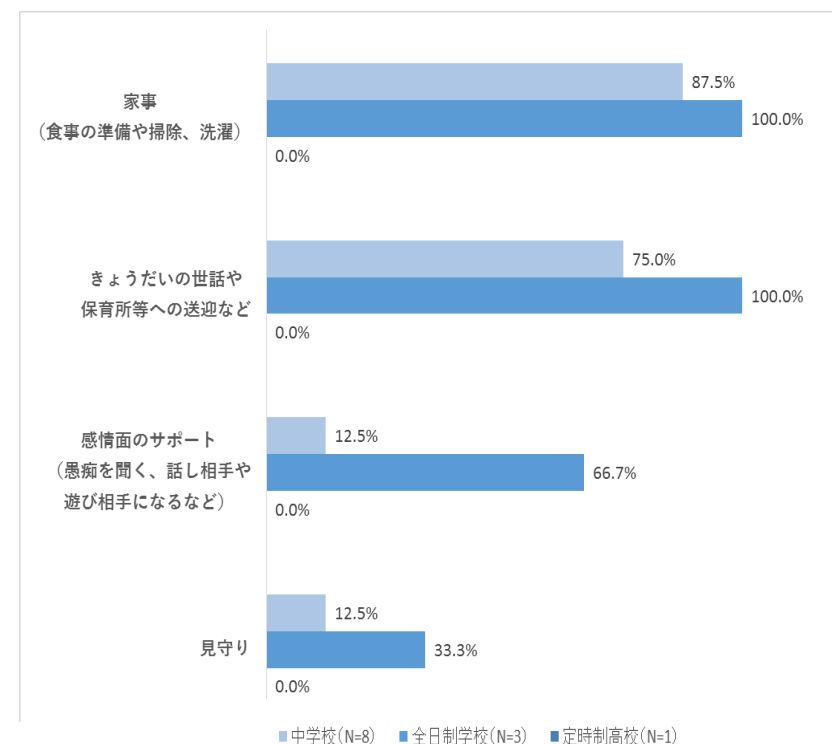
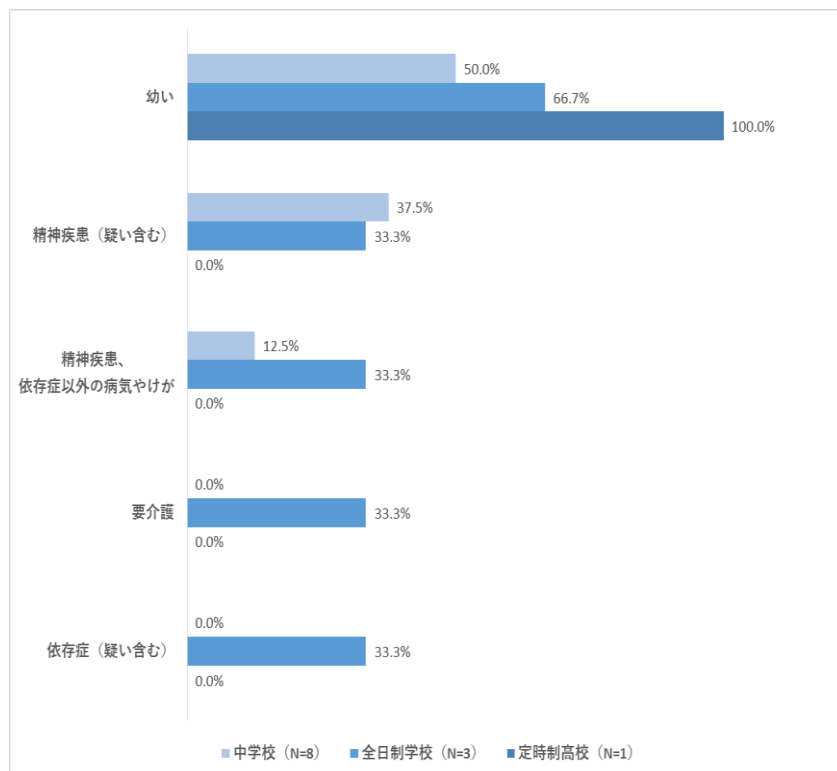
③ 家族構成(複数回答)

	母親	父親	祖父	きょうだい
中学校(N=8)	100.0%	50.0%	0.0%	87.5%
全日制学校(N=5)	100.0%	40.0%	20.0%	80.0%
定時制高校(N=1)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

④ 世話をしている人の割合(複数回答)

	母親	きょうだい
中学校(N=8)	75.0%	62.5%
全日制学校(N=5)	66.7%	100.0%
定時制高校(N=1)	0.0%	100.0%

⑤ ケアを必要としている人の状況と担っている役割



⑥ ケアが必要な家族が利用している福祉サービス等(複数回答)

	医療機関や訪問医療	福祉サービス	その他	わからない
中学校(N=8)	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%
全日制学校(N=5)	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%
定時制高校(N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

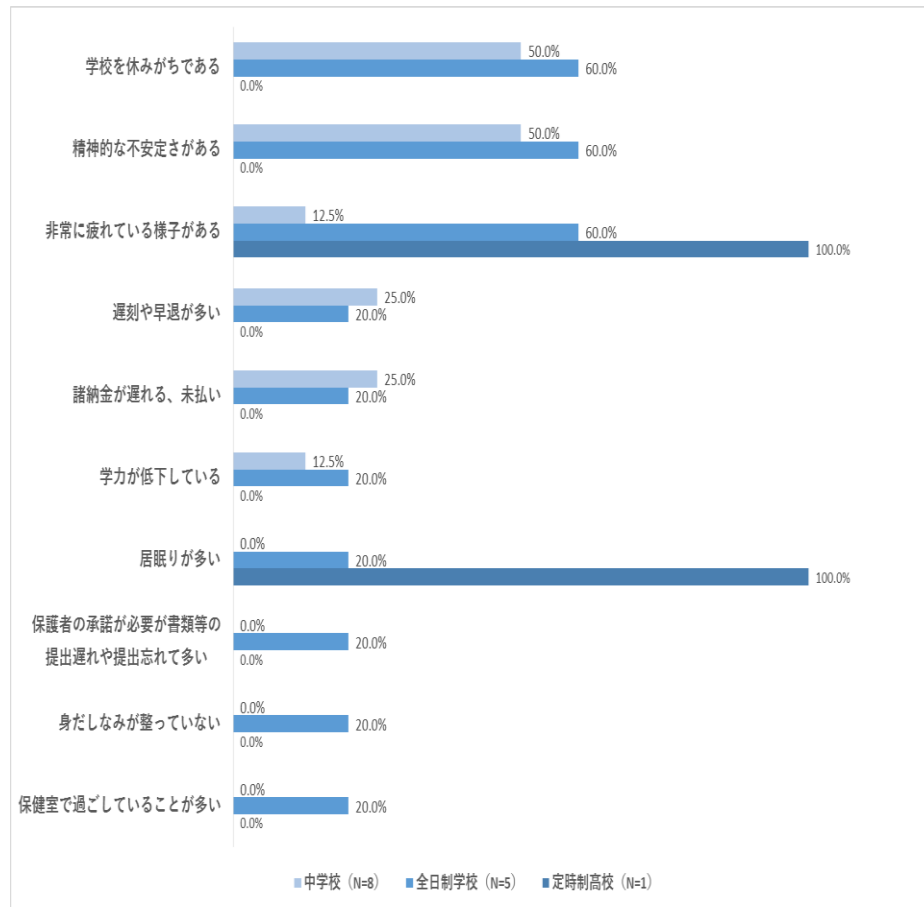
⑦ ケアの状況を把握していた学校の割合

	把握していた
中学校(N=8)	100.0%
全日制学校(N=5)	60.0%
定時制高校(N=1)	100.0%

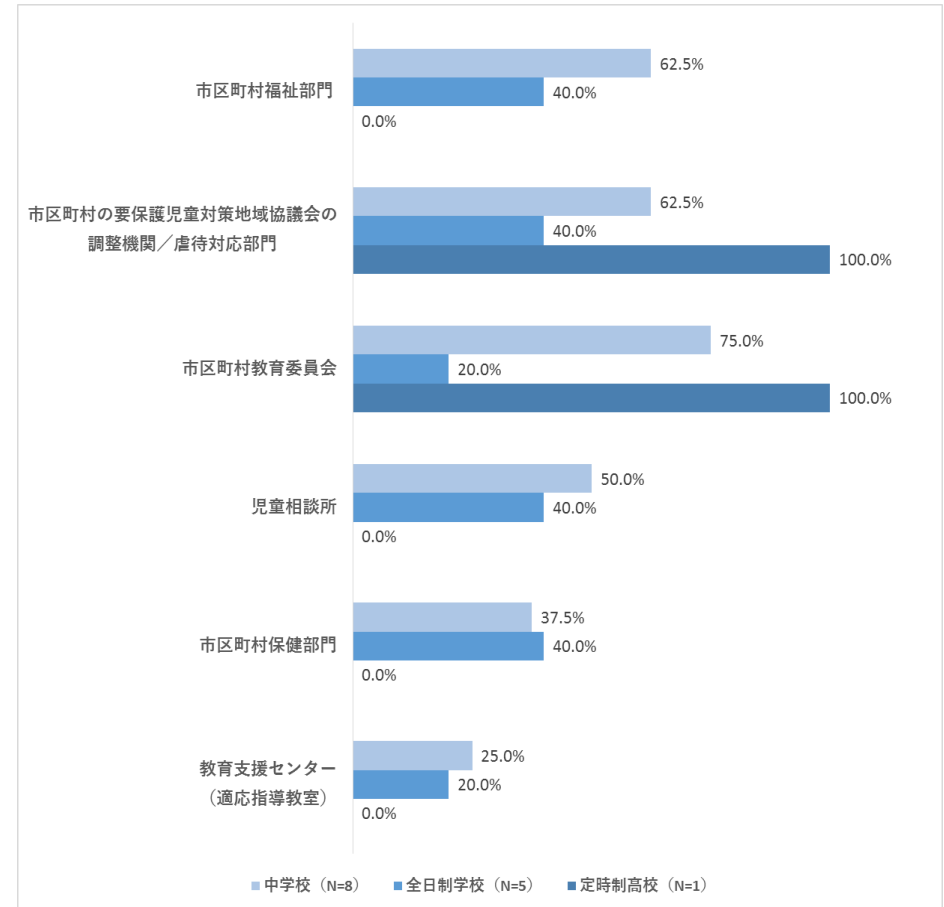
⑧ 学校が要保護児童対策地域協議会へ通告した際の経由機関等

	市区町村教育委員会経由	学校から直接連絡	その他
中学校(N=8)	50.0%	37.5%	12.5%
全日制学校(N=5)	0.0%	60.0%	20.0%
定時制高校(N=1)	100.0%	0.0%	0.0%

⑨ 学校生活の状況(複数回答)



⑩ 学校が連携した関係機関の割合(複数回答)



(2) ヤングケアラーを外部機関で支援した事例(要保護児童対策地域協議会以外)

① 性別

	女性	男性
中学校(N=34)	61.8%	38.2%
全日制学校(N=9)	66.7%	33.3%
定時制高校(N=4)	75.0%	25.0%

② 学年

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
中学校(N=34)	17.5%	47.1%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%
全日制学校(N=9)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	55.6%	22.2%
定時制高校(N=4)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%

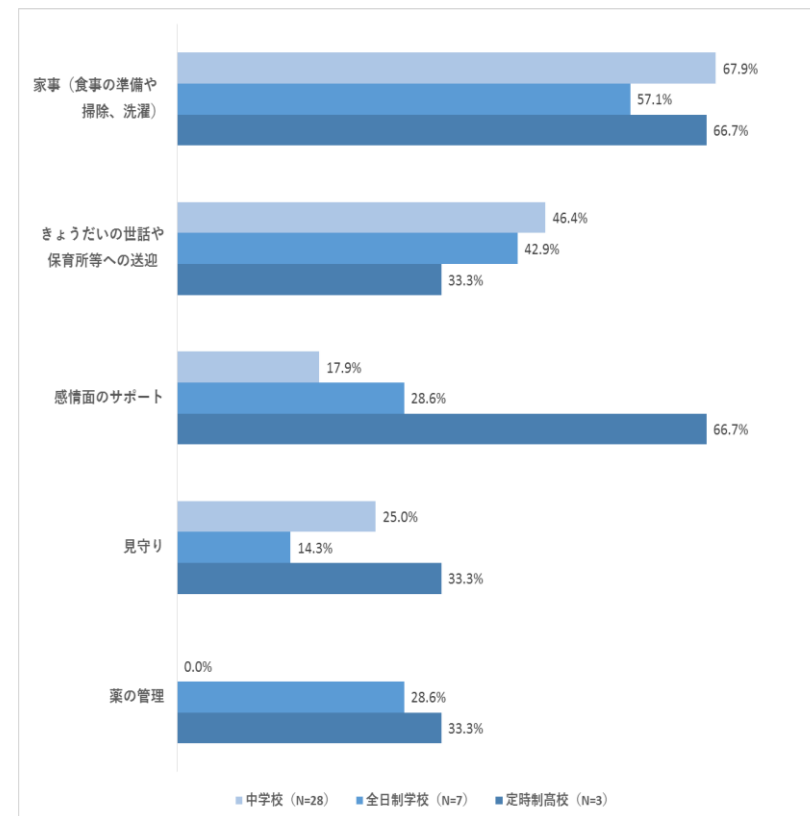
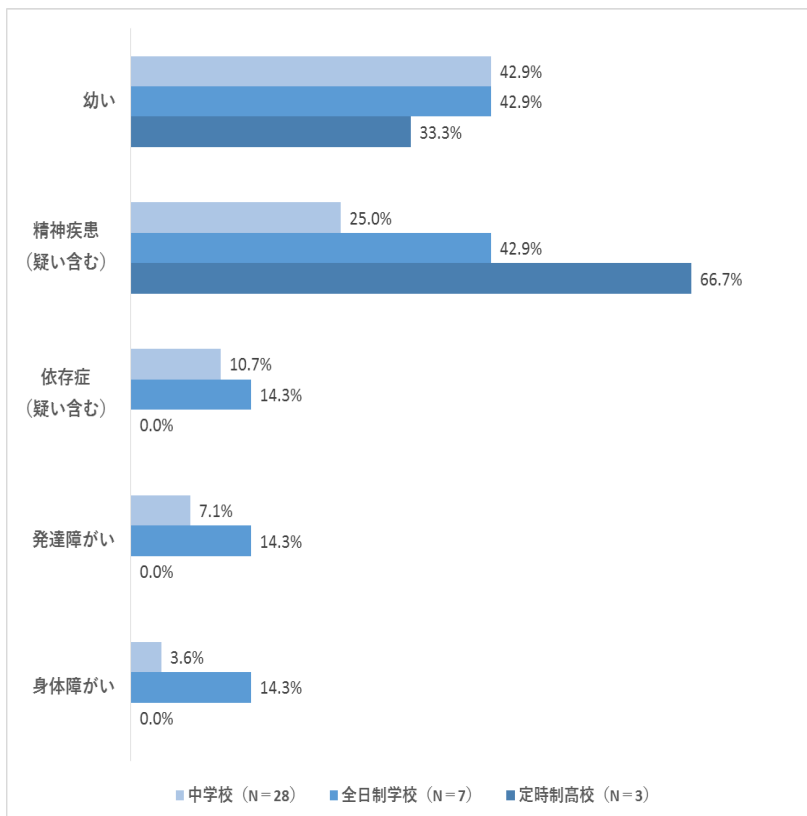
③ 家族構成(複数回答)

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
中学校(N=34)	79.4%	50.0%	14.7%	11.8%	82.4%	5.9%
全日制学校(N=9)	77.8%	44.4%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%
定時制高校(N=4)	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%

④ 世話をしている人の割合(複数回答)

	母親	父親	祖母	きょうだい	その他
中学校(N=34)	60.7%	14.3%	0.0%	50.0%	0.0%
全日制学校(N=9)	57.1%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%
定時制高校(N=4)	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%

⑤ ケアを必要としている人の状況と担っている役割



⑥ ケアが必要な家族が利用している福祉サービス等(複数回答)

	医療機関や訪問医療	福祉サービス	その他	わからない
中学校(N=34)	20.6%	41.2%	11.8%	20.6%
全日制学校(N=9)	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
定時制高校(N=4)	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%

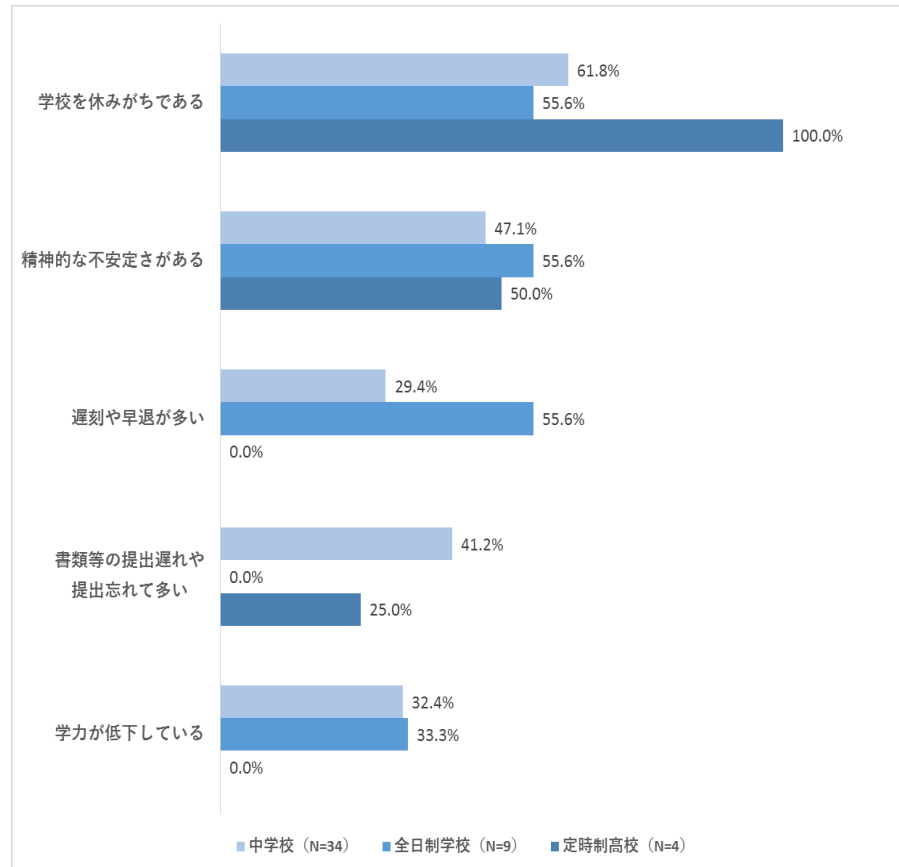
⑦ ケアの状況を把握していた学校の割合

	把握していた
中学校(N=34)	82.4%
全日制学校(N=9)	77.8%
定時制高校(N=4)	75.0%

⑧ 学校が外部の関係機関へつないだ際の経由機関等

	市区町村教育委員会経由	SSW経由	学校から直接連絡	その他
中学校(N=34)	58.8%	11.8%	20.6%	11.8%
全日制学校(N=9)	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%
定時制高校(N=4)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

⑨ 学校生活の状況(複数回答)



⑩ 学校が連携した関係機関の割合(複数回答)

